

平成 23 年度第 2 回（5 月）理事会 議事録

日 時： 平成 23 年 5 月 12 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 00 分

会 場： 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

出席者： 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、
栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、事務（岩崎）

欠席者： 酒井、山中監事

議 長： 今井

【 討議内容 】

・ 行動報告（4 月分）

別紙参照

・ 経過報告

1. 日臨技

- ・ 4 月 15 日に、平成 23 年度第 1 回定期総会に「定款変更案」が再上程されるとの会告があった。
- ・ 4 月 18 日に、平成 23 年度第 1 回定期総会「第 4 号議案」の別刷資料が会員専用サイトに掲載された。
- ・ 4 月 19 日に、平成 23 年度第 1 回定期総会委任状を紛失した会員はダウンロードし所定の事項を記入の上、至急所属の技師会に提出するようとの会告があった。
- ・ 4 月 20 日に、委任状回収の再依頼と委任状ハガキを、委任状未着会員宛送付するとの連絡があった。

2. 近臨技

- ・ 4 月 7 日に、近臨技前会長瀬田正憲氏のご逝去され今井会長が葬儀に参列した。
- ・ 4 月 16 日に、近臨技あり方検討委員会・会長会議・理事会が開催された。
第 50 回近畿医学検査学会表彰者が決定。平成 22 年度事業報告と決算報告を承認。平成 23 年度スケジュール（名誉会員をオブザーバ招聘）が承認。近畿地区協議会のあり方として、名称は存続し、部門長も存続する。東日本大震災支援のあり方として、支援金は直接日臨技へ、義捐金は近臨技としてまとめて日臨技へ送金する。任的支援は日臨技が窓口で情報収集する。日臨技データ標準化・精度保証セミナーの近畿地区での開催は学会とは別に実施する。近畿医学検査学会のあり方は、次回検討する。後援名義申請のあった「日本未病システム学会第 4 回近畿地方会」を承認した。
- ・ 4 月 30 日に、近臨技あり方検討委員会・会長会議が開催され、協議の結果、近臨技は 2 府 5 県会長の連名で平成 23 年度社団法人日本臨床衛生検査会第 1 回総会の「委任状取り扱い」及び「議案内容」に対し疑義があり賛同しがたいとの見解を表明し、同時に反対同義を文書で提出することとした。

3. 事務局

総務部 4 月 20 日に部会を開催した。

- ・ 大臨技平成 23 年度第 1 回定期総会について検討した。

- ・ 日臨技平成 23 年度定期総会の対応について検討した。
- ・ 大臨技会報（通巻第 197 号）の作成について検討した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 4 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

会計部 4 月 20 日に部会を開催した。

- ・ 3 月度収支決算書を作成した。
- ・ 日臨技へ 3 月分会費の送金を行った。
- ・ 平成 22 年度各部決算について確認を行った。
 - 会議費を 500 円で統一する。
 - 領収書のない費用は無効である。
 - 部会の中での通帳は決算ごとに残高証明を提出願う。
 - 会計事務所で確認後、理事会で報告することとする。

渉外部 4 月 19 日に部会を開催した。

- ・ 渉外部役割分担について話し合いを行った。
- ・ 子宮がん検診啓発活動について説明を行った。
- ・ その他

4. 事業局

情報組織部 4 月 21 日に部会を開催した。

新入会員研修会について内容を検討した。

地区事業部 4 月 21 日に部会を開催した。

- ・ マタニティーカーニバル 2011 について
 - 平成 23 年 6 月 25 日・26 日に大阪南港 ATC ホールで開催する。
 - 今回は血管年齢検査を行わないこととなった。
 - ユニホームを新調することとした。
 - 震災支援として会場で義捐金を募ることとする。

学術部 4 月 12 日に部会を開催した。

- ・ 第 4 回学術部講演会の反省会を行った。
- ・ 第 5 回学術講演会の打合せを行った。テーマは心臓となる予定。

・ 他、報告

1. 公益法人移行の進捗状況（運天副会長）

- ・ 5 月 10 日に主務官庁である大阪府と今後のスケジュール等の確認を行った。
- ・ 当件担当者より下記について要望事項等があった。
 - ・ 研修会等の参加費の差額について検討してほしい。
 - ・ データ標準化事業に関する資料は、素人にも分かる内容にする。
 - ・ 繰越金が大きくならないように配慮する。
- ・ 今後のスケジュールが確定した。
 - 5 月末に申請書類を作成、大阪府と法務課に 23 年度予算書類等を提出し事前協議相談に行く。
 - 6 月中に定款変更案を提出する

11月に大阪府に申請書類を提出。

来年3月に大阪府からの答申を頂く予定。

2. 厚生労働大臣表彰について

- ・ 日臨技より臨床衛生検査業務功労者の厚生労働大臣表彰実施について公文書が届いた。
標記表彰対象者は、臨床検査技師・衛生検査技師理事以上の従事年数が10年以上、免許取得後20年以上、平成23年11月11日現在50歳以上、過去において叙勲又は業務功績において褒章もしくは厚生労働大臣表彰を受けた者でないことである。
- ・ 当会における該当者は5名の中から、推薦枠の3名を推薦する。推薦は事務局一任とする。

3. その他

- ・ 平成23年度からの日臨技と大臨技会費納入方法の違いにより、当会事務局にて誤って4名の大阪府の日臨技会員に対して退会処理したため、4月28日に、日臨技事務局に退会取り消しの依頼を行い、復帰処理が完了した。
- ・ データ標準化について、サーベイ期間が3ヵ月以上と長いため、サーベイの申込みおよび振込については1ヵ月遅れで行うこととした。今年度は、15項目となる。
- ・ 大放技より提案があり、両会で会員交流会を行うこととなった。場所は「信貴山のどか村」の予定。

・ 議 題

1. 平成23年度第1回定期総会について（吉本常務理事）

- ・ タイムスケジュールに沿って行うこととする。
- ・ 会場レイアウトは、平成22年度2回定期総会時と同様とする。

2. 日臨技総会について

平成23年度第1回日臨技定期総会の対応について（今井会長）

- ・ 近臨技として、第4号議案および第5号議案には賛同しないこととなった。
- ・ 日臨技から委任状の未提出会員宛てに、再回収依頼文書と返信用ハガキが直接送られることへの対応として、大臨技は事前に「日臨技平成23年度第1回定期総会委任状の再提出のお願い」文書を会員に発送した。
- ・ 5月14日の日臨技平成23年度第1回定期総会に、今井会長と運天副会長が出席することとした。
- ・ 清水理事から議事録を含む当総会関連資料の提供があり、検討した。

2. その他

- ・ 大臨技研修会等での参加者受付において、日臨技会員と大臨技のみの会員が混在する場合、受付方法が煩雑となり、受付での混雑が生じている。当件の対応策として、手書き受付用紙フォーマットの統一化も含め、総務部で検討することとした。